

女夫石遺跡発掘調査速報

No.49

ここにこ健康づくり
陸上ウォーキング
12月19日(火)

「武田の里」を見つけよう!!

今回は今年最後のここにこ健康づくりの陸上ウォーキングの参加報告です。・・・そのつもりだったのですが、都合付かなくて残念ながら、参加は断念!ウォーキングルート上の「武田の里」を紹介します。今回はズリとマはお休みです。

高松公園からの眺望1
高松公園から鳳凰三山の方を眺めると、水田に1本の大きな木があるのに気がつきませんか?春にはピンク色に染まります。あの有名な「わに家の桜」です。春が待ち遠しいですね!




「武田発祥の地」と「藤井平五千石」眺望コース
距離 約4.5km
荏崎市役所→白髭神社→資料館→高松公園→若宮神社→雲岸寺→荏崎市役所



スタートから白髭神社裏の新産絶壁を登るコース。途中、資料館で一呼吸入れて、高松公園から藤井平の眺めを楽しみましょう。堀川沿いにはいくつも堤防がありますが、お気づきになりましたか。堤防がすみ奥になっているでしょ/さて何?あきながら頭の体操です。

白髭神社 (しらひげじんじや)
昔、洪水を白髭水と呼んでいたことがあるそうです。日本各地には大洪水のおこる直前に白髭の老人が現れて「早く逃げる!」と知らせてくれるといった伝説が残っています。白髭神社のあるこの周辺も釜無川の洪水に悩まされた地域です。洪水から守ってもらうために建てた神社なのかもしれませんね。ちなみに白髭の老人は塩土老翁(しおつちのおじ)と呼ばれていて、白髭神社の祭神です。また、この神社は穴明神と呼ばれていた時があって、祠(ほこら)の裏の崖に丸山までつながる穴があるといわれています。

雲岸寺 (うんがんじ)
雲岸寺のすぐ東の七里岩の断崖絶壁の中腹に穴観音(あなかんのん)で知られる岩屋観音堂(いわやかんのんどう)があります。その隣には市民会館のすぐ下に通じる洞穴があります。昔は修行(しゆぎやう)の一つとして、くぐってケガレを落としたいといわれています。もうすぐ、新年を迎えますよね、今年のケガレを早めに落とすつもりでくぐってみてはいかがでしょうか?



高松公園からの眺望2
高松公園から茅ヶ岳を眺めると、「藤井平五千石」と呼ばれた穀倉地帯が目に入ります。さらに目を遠くに移すと、「穂坂牧(ほさかまき)」のあった穂坂台地が広がっています。「甲斐の黒駒(くろこま)」と呼ばれた名馬の産地だったのです。資料館に寄るもの忘れないうでください!新府城の模型や昔懐かしい道具がありますよ。



福地ノ幡神社 (ふくちはちまんじんじや)
古い通りには神社や寺があります。この神社は福地ノ幡神社です。昔、この周辺を福地居(ふくい)と呼んでいたそうです。現在の藤井という地名の始まりともいわれています。



道しるべ
皆さんの歩いている道は甲州と佐久を結ぶメインルートだったのです。そんな道には旅人が迷わないように道しるべなどが点在しています。「右さくば道 左さく郡道」と書かれた石造物(せきぞうぶつ)を見つかることができましたか?「さくば」は作物を作る場所、要するに畑です。右に行ったら佐久へはいけませんよという旅人に優しい道しるべです。



若宮ノ幡宮 (わかみやのちまんべう)
「かわらべさん」とか「わかみやさん」とも呼ばれ地元で使われている神社です。祭神は大鷲命(おおたざのみこと)です。1585(天正13)年の棟札(むねふだ)によると、仁和年間の創建と伝えられていて、もと七里岩の上にあったが1583(天正11)年7月暴風雨により社殿が倒壊、天正13年10月に現在のところに再建されたそうです。例祭は7月30、31日で古くから「ていねっこぐり(たいねくぐり)」と呼ばれる茅の輪くぐり神事があります。回廊、無病息災、安産を祈る夏越し(なごし)のほらいすです。市指定文化財の「鶴亀の松」を見るのを忘れなく!



歩いてみると色々面白いことが見えてくるね。坂がはげしいし、小さな発見もあるし、いいことづくめだね!他の地域も歩けば楽しそうだね!

紹介したものの他にも「武田の里」が足元にあるはずですよ!ちょっと先のほうを見ながら歩けば何か見つかるかもしれないですね!!